



国際ロータリー第 2840 地区戦略計画 2017 - 2020 年

2020年、そしてその先の未来へ ～地区・クラブの戦略目標～ 「魅力あるクラブ」をつくろう

地区の役割は、「魅力あるクラブ」づくりをお手伝いすることです。

私たちの 2840 地区は、2000 年に第 2560 地区（新潟・群馬）を分割して、日本において最も新しい地区として誕生しました。来る 2020 年には記念すべき 20 周年を迎えます。また、そのときは日本のロータリーの生誕 100 周年でもあります。

今こそ、来る 20 周年を目指したビジョン、そして 30 年、50 年、100 年先に地区および各クラブが明るい未来を迎えるための礎となるようなビジョンを作るべきときだと思えます。

2020 年までに各クラブは自らが持つ素晴らしい歴史にさらに磨きをかけて、より魅力的なクラブへと発展していかなければなりません。生き生きとした誰もが楽しいクラブ、社会に認知されたクラブ、会員であることに誇りを持てるクラブ、多くの仲間と共にこの目標を実現しましょう。地区はその応援をします。

私たち 46 クラブは一つです。

1 明るい未来のために素晴らしいビジョンを作ろう

- 目標そしてその計画なくして実行なく、成功はありません。
クラブの仲間と夢を実現するために、具体的な目標づくりが必要です。クラブで将来の理想的なビジョンを作り、実施計画を立てましょう。

2 仲間を増やそう

- 仲間を増やすことで、例会の充実や奉仕活動への活力が生まれます。
クラブ財政が豊かになり、これまで手の届かなかった事業も実現できます。その結果、地区・クラブの地域・社会への貢献度がより高まることでしょう。
そのために
 - (1) 会員増加率は毎年度 5% 増を達成しましょう。
 - (2) 若手会員はクラブの未来です。彼らの参加を促しましょう。
 - (3) 女性会員ゼロクラブをなくしましょう。
 - (4) 早期に地区の会員数 2540 名（女性会員 200 名）を達成しましょう。
(地区分割時の会員数に戻そう。)

3 ロータリーを楽しもう そして仲間と語ろう

- ロータリー活動の第一歩は例会に出席することです。
そこでの仲間との出会い、交流、親睦は生涯の財産です。例会、研修、セミナー、奉仕活動などすべてが自己の研鑽に繋がります。せっかくの機会を活用し人生にとって有意義な経験を得ましょう。
そのために
 - (1) 例会に出席しましょう。そして他クラブにも積極的にメイクしましょう。
 - (2) 地区大会、各種の研修会・セミナー等に積極的に参加して自己研鑽に励みましょう。



4 ロータリーを知ろう

- ロータリーは知れば知るほど面白くなります。
四つのテストに代表されるように、ロータリーは自らの行動をより良い方向へと導いてくれます。自らが誇れるロータリアンになるためにロータリーをもっと勉強しましょう。
そのために
- (1) 地区・クラブにおけるロータリー研修を活性化しましょう。
 - (2) 地区研修リーダー、クラブ研修リーダーが連携して、ロータリーの理解を深めましょう。

5 ロータリーを知らせよう

- 地域社会の人たちはロータリーをどれだけ理解しているのでしょうか。
私たちは世界に対して良いことをし続けてきました。しかし残念ながらロータリーに対する公共イメージは低いものがあります。これをなんとか改善しましょう。
そのために
- (1) ロータリーの存在価値を発信することの重要性を理解しましょう。
 - (2) 地域に貢献するロータリー活動を促進し、社会からの認知度を高めましょう。

6 奉仕活動の意義を再確認し、充実させよう

- ロータリーの五大奉仕部門の活動はロータリーの柱です。
これらを充実させることは自分たちが社会に良いことをするという意識を共有し、親睦を深めるために大切なことです。
そのために
- (1) 私たちの原点である各種の奉仕活動に積極的に参加しましょう。
 - (2) 世界の青少年の夢をはぐくみ、次世代への明るい未来を拓きましょう。

7 私たちの寄付金を活用し、社会のために良いことをしよう

- 寄付金は善意溢れる小さな好意です。でもそれが集まると大きな事業が出来ます。
社会に貢献することは私たちの使命です。
そのために
ロータリー財団や米山記念奨学会に寄付をして、
- (1) ロータリー財団からの補助金を積極的に活用しましょう。
 - (2) 世界の平和のために、米山奨学金を利用し留学生を支援しましょう。

8 寄付の大切さを知り、各自の寄付額を充実させよう

- ロータリアンは寄付の大切さを知っています。その効果的な使い方もよく知っています。社会に対して私たちは寄付金を利用してどのように貢献していくのがよいのかを考えましょう。
そのために
- (1) ロータリー財団への寄付金1人あたり150ドル以上を維持しましょう。
 - (2) 「もう少し」ポリオ撲滅のため、同寄付金1人あたり30ドル以上を維持しましょう。
 - (3) 米山奨学寄付金1人あたり16,000円以上を維持しましょう。